

はじめに

GOLDWING F6B

Honda は、1975年にアメリカの二輪市場で主流の若者向けロードスポーツモデルに対抗して、ベテランライダーが操って共感を得られるような新しい価値を持つ水冷水平対向4気筒エンジンを搭載したGL1000を「The King of Motorcycles」として市場に投入しました。

その後、GL1000は、「2人乗りでも快適にツーリングできるツアラー」をキーコンセプトに、大型フロントカウリングやパニアケースを装着するなどの熟成を図りユーザーと共に市場を創造してきました。

そして1979年には1000CCから1100CCへ、1983年には1200CCへと排気量をアップし、快適装備をより充実させました。

さらに進化は歩みを止めることなく、1987年にはゆとりのある高品位な水平対向6気筒1500CCエンジンを搭載し二輪車初※1のリバース機構も採用し、「The King of Motorcycles」の地位を不動のものといいたしました。

2000年には、スポーティーさを求めるライダーと快適性を求めるパッセンジャーのニーズと、排出ガス規制という社会的要請に応え、アルミ製ツインチューブダイヤモンドフレームを採用し1800CCへと排気量をアップした新設計エンジン搭載のゴールドウイング(GL1800)を発売しました。

2005年には、GPSナビゲーションシステムを搭載した仕様を設定し、2006年には世界初※2の二輪車用エアバッグを搭載するなど、快適かつ安全な先進技術を採用してまいりました。

そして、2011年には外観をシャープで軽快感あるデザインに一新し、最新のオーディオやナビゲーションを装備することで、快適なロングツーリングの実現に向け、一層の進化を遂げました。

※1.2 Honda 調べ

今回新たに投入するゴールドウイング F6Bは、従来のゴールドウイングユーザーのみならず、新しい世代にも気楽に軽快に楽しんでもいただけるよう、快適性をそのままに装備仕様の最適化と運動性能の向上を図った軽量でスタイリッシュなモデルに仕上げました。ツーリングはもとより市街地でも利便性を発揮します。

Honda は、今後も、皆様の人生を豊かにするモビリティを提供して参ります。末永く Honda 製品をご愛顧賜りますよう、よろしくお願ひします。

株式会社 本田技術研究所 二輪R&D センター
水平対向6気筒エンジンシリーズ 開発責任者

TEISHIRO GOTO

後藤 悌四郎

